

白門58会通信

第3号

平成23年9月20日(火)

発行者 白門58会 (中央大学学生会 58会支部)

東京都新宿区高田馬場2-14-6 アライビル7階 コンサルファーム有限会社 内

<http://www.ene-web.com/chuo/>

chuo58@noracom.co.jp

白門58会 (学生会58会支部) 総会を開催 被災地学生支援募金に協力を確認

白門58会 (内村愛支部長) は8月27日、東京都世田谷区の成城ホールにおいて、2011年度通常総会を開催しました。

ブログを通じ事前に意見交換

当会は昨年度、学生会支部としての規定を満たして支部承認され、今回が初の支部定期総会となりました。総会では、事前にブログを通じて告知していた昨年度の事業報告と今年度の事業計画等の議事について、事前の会員からの意見報告と総会出席者での討議を行いました。

なお、今後も当会では、会運営の状況をブログ等を通じて会員に発信・報告していきます。ブログへの投稿をお待ちしています。



53会と合同の記念撮影。中央は来賓の学生会・松本将男副会長

東日本大震災被災学生への支援

本年度の主な事業としては、東日本大震災被災学生への支援を目的に、「125周年募金(「中央大学東日本大震災被災学生奨学金(経済援助給付奨学金)」)への寄付を行うことなどが承認されました。

東日本大震災への支援活動について当会では、既に多くの会員が個人や所属企業・団体において募金やボランティアなどを行っていることを踏まえ、「学生会支部としてふさわしい活動」として、大学支援と被災者支援の両方の目的を達成する「125周年募金の被災地学生支援使途限定」を選択しました。当会の活動は有志による維持費納入と寄付、会報広告によって賄われていますが、募金はこれらの収入から拠出することも総会で確認されました。本年4月時点で幹事会として行った3万円の寄付を含め、今年度中に10万円の寄付を目標に、会員への維持費納入を呼びかけていきます。

53会と共催のイベントを開催

総会終了後は来賓の学生会・松本将男副会長から、大学と学生会活動の現況についてお話をいただいた後、53会と共同の「東日本大震災義援の説明・報告会」「中央大学硬式野球部・応援団激励会」(次ページ)に臨みました。

53会と58会は支部設立準備段階から相互に協力関係にあり、これまで情報交換や懇親会等を共に行ってきました。今回のイベントも、仕事や家庭が多忙で会活動への参加者が集まりにくいという共通の問題を抱える中で、総会後の懇親会や主要事業を共催することで、人員やコストの負荷軽減を目指しました。

今回の成功も踏まえ、今後は共催の呼びかけを他年次支部にも広げていくことを検討中です。

東日本大震災被災学生への支援にご協力を

東日本大震災では、中央大学在学学生、新入生やその家族の中にも、被災した方が数多くいるようです。大学は、義援金やこれらの学生への授業料減免などの措置を講じていくこととしていますが、これと同時に、被災された地域に世帯のある学部生・大学院生(新入生含む)に対する奨学金を「募金」として募っています。

この募金は、現在進めている「125周年募金」の「使途限定」として集められるもので、「義援金」との違いは、その使途が「(被災世帯の学生の)奨学金」に限定されていることです。

当会ではこれに賛同し、当会会員から集めた維持費から寄付を行うことを総会で決定しました。募金は右記の要領で行います。ご協力よろしくお願いします。

維持費の半額を募金として寄付

- 募金+維持費 1口3,000円(1口から受付)
 - 当会郵便振替口座に振り込み(同封の郵便振替用紙をご利用ください)
 - 維持費分を差し引いた額を大学の「125周年募金(被災世帯の学生の奨学金使途限定)」に入金します。(年度末に予定)
 - 目標 設定はしませんが、昨年度の維持費(協賛金)実績程度の場合、100,000円以上の寄付を見込んでいます。
 - 寄付者へのお礼 125周年式典等で配布された書籍「タイムトラベル中大125」(非売品)を謹呈します。
- ※直接募金される方(「維持費分も奨学金へ」という方)は、大学ホームページでご確認ください。

53会、58会支部共催 中央大学硬式野球部・応援団激励会を開催

53会支部（白門53会・野田明利支部長）・58会支部（白門58会）はさる8月27日、東京都世田谷区の成城ホールにおいて、「中央大学硬式野球部・応援団激励会」を共催で行いました。



53会・野田明利会長が開会あいさつ



来賓の中央大学・遠山暁常任理事



学員会・松本将男副会長の乾杯で懇親会開宴



閉会にあたりお礼のあいさつをする58会・内村会長

このイベントは東都大学野球秋季リーグ優勝に向けて、現役野球部員・応援団員を激励することを目的に開催したもので、昨年8月、53会が八王子市内で開催した会（58会からも4名出席）を発展させたものです。

現役大学生と直接歓談する場を設けることで、母校のスポーツの現状を知り、学生たちのためになる支援のあり方を考えようという趣旨で、53・58会員に限らず、学員会の多くの方々（各年次、地域、職域など）に参加を呼びかけ、当日は現役学生12名を含め80名を超える参加となりました。

来賓の一人として挨拶に立った学員会・遠山暁常任理事は「野球部の活躍が大学を元気にする」と選手らを激励し、学員会・松本将男副会長の乾杯で懇親会を開始。応援団演舞DVDの上映を鑑賞しながらの歓談の場となりました。また、野球部や応援団のOBを含め卒業50年以上から平成卒まで多数の「先輩」が次々に登壇し、野球部・応援団へエールを送る、和やかで活発な交歓会となり、イベントは大成功でした。

参加していただいた会員はもちろん、設営準備等にご協力いただいたみなさん、ありがとうございました。



幅広い年次が参加し和やかに歓談



野球部員の紹介。当日は新人戦があり4年生のみ出席



近年、応援団は女子学生も活躍



学生と卒業生とで記念撮影



東都大学秋季リーグ優勝をめぐして



野球部・応援団に寄付を贈呈

ベネズエラ庶民を迫力あるエピソードで描いた
楽しくてちょっぴり悲しい、団塊世代女性の物語

ミ・ファミリア

悲しいのに笑い、泣きながら踊った
ベネズエラの日々

漢那 朝子 著

四六判 304頁 1,365円（税込）

全国有名書店、Amazonで

諏訪書房

好評発売中



広告・企画

PHIL PLANNING

株式会社 フィルプランニング

〒143-0023 東京都大田区山王 1-12-4 ヴァンティアン 100
TEL 03-3774-9018 FAX 03-5742-1218

沼津オフィス

〒410-0052 静岡県沼津市沢田町 6-31